

「トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム」  
平成 28 年度前期（第 4 期）募集概要  
《前期（第 3 期）からの主な変更点》

1. 多様な人材を募集します。

①「海外初チャレンジ応援」枠の新設

海外への渡航経験が少ない学生（目安：海外累計滞在日数が半月程度以内）の留学を応援する枠（全体の 1 割程度）を設け、3 か月以上推奨ではなく 28 日以上であれば短期の留学計画でも支援します。選考においては、海外経験の少なさを考慮して、より人物面を重視した評価を行います。

②（独）日本学生支援機構第二種奨学金の家計基準を超える学生も支援

家計基準を超える学生も支援予定人数全体の 1 割程度支援します。支援内容は、奨学金が一律 10 万円/月以外は、家計基準を満たす学生と同等です。

③理系留学のコース名をよりわかりやすく

「自然科学系、複合・融合系人材コース」

→「理系、複合・融合系人材コース」にコース名を変更します。

※応募要件等は、前回から変更はありません。特に、環境・エネルギー分野、ライフサイエンス分野、情報通信技術分野、農林水産分野、ものづくり分野での新産業創出につながる取組や実践活動を支援します。

④新興国コースの応募要件を緩和

「新興国コース」の要件から「ビジネスを視野に」を削除し、「現地語（英語以外）の習得、異文化理解等の学修」を追加し第 1 期と同様の要件に変更し、新興国へ興味のある学生を幅広く支援します。

2. より趣旨に沿った留学計画を支援します。

①実践活動に関する変更

募集要項の趣旨および概要に、目的に基づいた実践的学びの重要性を明記。実践活動先（受入機関名）や実践活動内容の詳細を問うよりも、応募動機や将来のビジョン、留学のミッションに沿った実践活動内容（テーマ、目的、期間等）になっているかどうかを重視します。

②世界トップレベル大学等コースの要件変更

「世界トップレベル大学等コース」の要件に「大学の場合には、通常の講義（語学は除く）」に出席し、単位が修得できる学生を対象を追加しました。